

相模原市公共交通ニュース

～みんなで使おう公共交通！～

第9号／平成28年3月

相模原市公共交通整備促進協議会は、相模原市・市議会・自治会連合会・市内各種団体で構成し、昭和44年の設立以来、市内の鉄道やバス交通の輸送力増強等の促進を目的に、鉄道及びバス事業者への要望活動や、公共交通の利用促進に向けた啓発活動等を行っています。

相模線の利便性向上に向けて

相武台下駅・下溝駅の駅舎が改修されます

相模線相武台下駅及び下溝駅の駅舎の老朽化のため、JR東日本が、平成28年6月までの予定で、両駅駅舎の改修工事を進めています。

この駅舎改修工事において、多様な利用者に配慮した多機能トイレが、相武台下駅及び下溝駅に整備されるとともに、下溝駅では、長年、協議会で要望してきたバリアフリー化が実現される予定です。

なお、相武台下駅については、誰もが利用しやすい駅の実現に向けて、エレベーター設置等によるバリアフリー化を引き続き要望していきます。



相武台下駅完成イメージ
(JR東日本提供)



下溝駅完成イメージ
(JR東日本提供)

ダイヤ改正で相模線終電時刻が繰り下がりました

平成28年3月のダイヤ改正において、橋本駅発の茅ヶ崎駅行きの最終電車が、平日、休日ともに約30分繰り下がり23時48分になりました。

また、平日の夕方通勤時間帯に、海老名駅～橋本駅間で上下1本ずつ電車が増発されました。

これにより、協議会で要望していた、他線との乗継改善や輸送力増強が実現し、利用しやすくなりました。

相模線活性化の取組

県や沿線市町・経済団体で構成する「相模線複線化等促進期成同盟会」では、例年、沿線ハイキング等の利用促進に取り組んでいます。

平成27年度は、例年の取組に加え、「なつやすみ相模線沿線スタンプラリー」の実施や、沿線の地酒と食を楽しみながらJAZZを楽しむイベント列車「Shu-Shu Train (シュシュトレイン)」の運行に取り組みました。

また、市では「相模原市ホームタウンチーム」のロゴや選手の写真を車体・車内広告として掲出した「相模線“相模原市ホームタウンチームトレイン”」を運行しました。

協議会では、相模線・沿線地域の活性化に向けて、輸送力増強等を引き続き要望していきます。

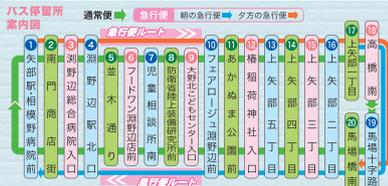


大野北地区コミュニティバスがもっと便利に！みんなで乗って継続を！

平成26年2月から実証運行されている「大野北地区コミュニティバス」は、実証運行期間中の利用実績が運行継続条件を満たしていないため、地域組織で協議を重ね、平成28年2月1日から運行ルート及び運行時刻が一部変更され、利用しやすくなりました。

朝夕の時間帯での急行便の設定などにより、淵野辺駅までの到着時間が最大で16分短縮され、淵野辺駅におけるJR横浜線との乗継もスムーズになりました。

変更後1年間の利用実績においても運行継続条件を満たさない場合は運行が廃止となります。便利になった大野北地区コミュニティバスをぜひご利用ください。



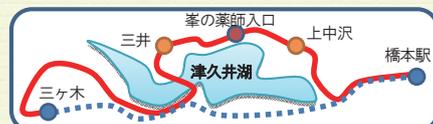
津久井地域のバス・乗合タクシーの本格運行が開始されました

三ヶ木～三井・上中沢～橋本駅バス路線と吉野・与瀬地区乗合タクシー（藤野駅⇄相模湖駅）は1年間の実証運行中、多くの方にご利用いただき、平成27年10月1日から本格運行へ移行されました。

三ヶ木～三井・上中沢～橋本駅バス路線は、津久井湖周辺の観光にも便利です。

吉野・与瀬地区乗合タクシーは、みなさまに愛着を持ってもらえるよう愛称が募集され、「ふれあい号」に決定されました。

この2つの公共交通を末永く運行するためにも、引き続きみなさまのご利用をお願いします。



小田急多摩線延伸に向けて取り組んでいます

唐木田駅から市内への小田急多摩線の延伸は、市が目指す「広域交流拠点」の形成に必要不可欠であり、沿線地域から都心へのアクセス性が向上するなど、交通ネットワーク上、重要な路線です。



このため、協議会では、唐木田駅から相模原駅を経由した上溝駅まで、さらには上溝駅から田名地区を経由した本厚木駅までの延伸を要望している他、市や市議会、住民団体が関係機関への要望を実施するなど、地域が一体となって取り組んでいます。

こうした中、唐木田駅から上溝駅までの延伸について、市では、関係機関等と共同で検討を進め、平成26年には町田市と推進に関する覚書を取り交わすなど、延伸の実現に向けた取組を進めています。

また、上溝駅から本厚木駅までの延伸についても、市と沿線市町村が連携し、検討が進められています。

協議会では、延伸の早期実現に向けて、引き続き関係機関へ要望していきます。

東林間駅西口へのエレベーター設置工事が進んでいます

バリアフリー化のため、協議会で要望していた、東林間駅西口エレベーター設置工事が平成27年11月に着手されました。平成29年3月の完成に向けて、工事が進んでいます。



市では広域交流拠点整備(橋本駅周辺・相模原駅周辺)に向けて取り組んでいます

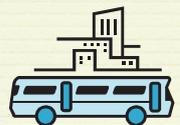
リニア中央新幹線神奈川駅設置が予定される橋本駅周辺と、相模総合補給廠が一部返還され、小田急多摩線延伸も期待される相模原駅周辺について、「広域交流拠点」としてのまちづくりを目指し、市では、平成26年度から検討委員会を設置し、整備計画の検討を行ってきました。

平成28年3月3日に、委員会から市長へ整備計画が答申され、交通ターミナル機能の強化や交流の拠点となる駅前空間の整備などの方針が示されました。

今後、答申を基に、市でとりまとめ等を行い、整備計画が策定されます。



検討委員会 岸井会長(中)、市川副会長(右)から加山市長(左)への答申の様子



要望活動を実施しました



協議会では、公共交通の利便性向上に向けて、平成27年10月から平成28年1月にかけて、各交通事業者へ要望活動を行いました。



要望活動の様子

JR東日本横浜支社



京王電鉄

主な要望内容

- JR東日本横浜支社
「横浜線の輸送力増強及び相模線の複線化等」
- JR東日本八王子支社
「中央本線の輸送力増強及び横浜線との相互乗入れ」
- 小田急電鉄
「輸送力増強及び多摩線の市内への延伸」
- 京王電鉄
「相模原線の輸送力増強」
- 神奈川中央交通
「バス交通の輸送力増強」

これまでの要望活動の主な成果 要望活動を通じ、次のような成果を得ています。

【平成26年度】

- ・ 横浜線の根岸線への乗入れ本数の増加
- ・ バス発車案内システムの導入 など

【平成27年度】

- ・ 下溝駅のバリアフリー化(平成28年6月完成予定)
- ・ 相模線の終電時刻の繰下げ
- ・ 東林間駅西口エレベーター設置(平成29年3月完成予定) など

都市交通施設整備基金にご協力を

相模原市では、都市交通施設の整備にかかる費用の一部にするため、平成20年度から基金の積立を行っており、市民の皆様や企業などからの寄附を受け付けています。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

発行/相模原市公共交通整備促進協議会 編集/(事務局) 交通政策課

☎042-769-8249 [直通]

E-mail : toshikoutsu@city.sagamihara.kanagawa.jp